

静岡県漁業協同組合連合会
1057 静岡市追手町 9-18
15.8.29 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 海の探検隊「地引網体験」と「シラス船曳網体験」盛大に開催される

今年も次世代を担う子供たちに海の環境保全と資源管理の大切さを伝える、海の子フェスタ2003事業「海の探検隊」は、夏空の広がる8月23日に三保海岸で「地引網体験」、24日に日の出マリンパークで「シラス船曳網体験」が、多くの子供たちが参加し、清水漁協の組合長、青壮年部、遠洋水研、静岡市、県の協力を得て盛大に開催されました。

地引網体験には地元静岡市を中心に子供たちと両親約150人が参加しました。当日は、朝6時30分の受付開始にもかかわらずそれ以前から多くの参加者が集まり、7時から本事業の説明、続いて清水漁協宮城島組合長の挨拶及び地引網の漁法説明が行われたあと、網が海に入れられ、約40分をかけて参加者全員により網揚げが行われました。

網に入った魚は、マダイ、カレイ、カワハギ、ヤガラ等のほかハリセンボン、エイなど珍しいものもあり子供たちの歓声が上がりました。それぞれ班毎に捕れた魚の説明や食べ方に子供たちは熱心に聞き入り、最後に獲れた魚は子供たちのお土産となりました。

シラス船曳網体験には約120名の参加があり、双胴船「ベイプロムナード」に乗船した子供たちは、大型貨物船が行き交う清水港を出て興津川よりの漁場で、地元清水漁協のシラス1艘船曳網漁船「昌栄丸」の操業を見学しました。

マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシの稚魚のシラスとはどんな魚、餌のプランクトンと駿河湾の話聞きながら1時間の船旅を楽しみ、漁獲された生シラスを味わって、子供たちと家族の笑顔には新鮮な魚と海のすばらしさが溢れていました。

2. 平成15年度天草共販第4回入札会開催される

本会では、去る8月20日天草事業の第4回入札会を賀茂出張所において開催し、入札結果は次のとおりです。

数量：14,000kg(562本) 取扱金額：19,479千円 平均単価：13,913円(10kg当たり)
最高入札額：稲取まくさ(粗) 19,220円(10kg当たり)

この結果、第4回までの取扱累計は26,078kg、1,047本(対前年比40,928kg、1,640本減)、取扱金額38,041千円(同20,007千円減)、平均単価14,587円(同5,924円高)となりました。

なお、次回の入札会は、原藻の集荷状況により、第6回(9月24日(水))となります。

3. 最近の石油情勢

- 資料提供JF全漁連 -

国際石油情勢：OPECは、7月31日にウィーンで臨時総会を開催し、イラクの原油生産回復が当初の見込みより遅れていることや、石油市場が安定的でかつ十分な供給が行われており、価格も合意された範囲内で止まっていることから、6月11日の臨時総会で据え置いた現行の生産枠(25,400千バレル/日)を8月以降も継続することで合意した。なお、9月24日にはウィーンで定例総会を開催し、今後の生産枠を協議することとした。

原油市況：イラク国内の石油施設の破壊が相次いでいることや、ナイジェリアでのゼネスト懸念などから、6月下旬に30ドル/バレル台まで上昇。7月に入ると、熱帯性低

気圧によるメキシコ湾の石油・ガス生産に対する懸念や、新たに発生したイラク国内でのパイプラインの爆発火災事故、31日に開催されたOPEC総会における生産枠据え置き決定などにより、8月中旬現在、31ドル/バレル台で堅調に推移しています。

石油製品市況：石油製品市況はシンガポール・ガスオイル市況において、原油価格が堅調なことに加えシンガポールの石油会社が需給の調整を図るために製油所の稼働率を落としたことから、6月下旬には29ドル/バレル前後で推移しました。また、SARSの終息に伴う中国の国内需要の回復などによりアジア域内の需給も引き締まり、8月中旬現在、32ドル/バレル台まで高騰している。

国内石油情勢・石油業界動向：石油製品の国内在庫数量は、平成15年6月末速報において、燃料油合計で13,332千kl、前年同月比104.3%、A重油は1,214千kl、前年同月比87.2%となっています。平成14年8月の東京電力の原子力発電所トラブルにより停止していた原子炉17基のうち、平成15年6月から8月にかけて5基が運転を再開しました。これにより元売各社は、C重油需要の減少に対応するべく7月から減産を実施し、さらには、ガソリンをはじめとした石油製品需要の低迷等により、8月以降も引続き原油処理量を引き下げ、減産体制を継続することとしている。なお、全漁連では去る8月21日石油部会を開催し諸般の石油情勢からA重油を中心とする石油製品価格について9月1日より、1,800円/klの値上げを決定致しましたので会員の皆様方のご理解とご協力をお願いします。

4. 平成15年度漁協組合長会議・研修会開催のお知らせ

本会では、来る9月25日(木)～26日(金)の両日、三溪園(伊豆長岡)において、平成15年度漁協組合長会議・研修会を開催します。

この会議は、地域の問題点や漁協・漁業が当面する課題等を討議し、その対策の樹立を図るとともに、研修会を通じて業界を取り巻く環境変化に対する洞察力を養い、漁協運営と協同組合運動のリーダーとして研鑽し、もって漁協系統の健全な発展に資することを目的に開催するもので、本年度の研修内容は次のとおりです。

第1日目 講演1「産地市場の販売事業の動向と今後の課題」講師=(株)水土舎 代表取締役 乾政秀氏 講演2「くまの灘漁協の合併と合併後の事業推進への取組について」講師=くまの灘漁業協同組合 常務理事 吉永農志氏 第2日目 前年度組合長会議等実行報告 組合長会議：平成15年度課題の検討・討議及び要望事項の採択
情勢報告 問合せ・連絡先：指導部組合課 TEL:054-254-6011

5. 県、TAC(漁獲可能量) 7月末漁獲実績を発表

県では、この程TAC対象4魚種の7月末現在の漁獲可能量を発表しました。

それによると、サバがTAC数量9,000トンに対し6,464トンで消化率71.8%となり、TAC数量が若干量の魚種では、マアジ1,561トン、マイワシ2,138トン、スルメイカ279トンとなりました。また、サンマは30トンの漁獲量となりました。

6. 諸会議・日程(9月2日(火)～9月15日(月))

- 既報分省略 -

9月9日(火) 県漁連=衛生管理研修会 (県水産会館)

" 県ふぐ漁組合連合会=ふぐ三県協定会議 (浜名漁協)

9月12日(金) 県漁業信用基金協会=貸付担当者会議 (センチュリー静岡)